



広報

平成5年(1993年)

1月1日

No. 699

(毎月1日・15日発行)

発行/秋田県五城目町

どじょうめ

謹
賀
新
年



主 な 内 容

- ・町長・議長新年のあいさつ 2・3
- ・ぼくの夢・わたしの夢 4・7
- ・新春をうたう 8
- ・遺跡をたずねて 17

明日に向かって
大きく羽ばたけ!!

年頭にあたって

五城目町長

佐藤 邦夫



新年あけましておめでとうございます。輝かしい新年を迎え、皆様にとりまして、実り多き幸せな年となりますようご祈念申し上げます。また、過ぎし年は皆様のご指導ご理解を賜わり心から感謝申し上げます。アメリカ、クリントン次期大統領の誕生に象徴される如く、時代は新たな潮流の中にあります。この潮流は、次なる時代に向けた「変革」を求めるものであり、多様化する価値感をベースとした政治、産業経済、教育、文化等、全ての分野にわたるものでしょうし、私達はこの潮流を全身でうけとめ、次なる時代に向けて、勇気と情熱をもって「挑戦」してゆかなければならないと思うのです。

国内的にも、国際協力や貢献のあり方、政治改革、貿易摩擦と米の自由化、経済の安定化等、多くの課題をかかえての越年となりました。このような中であって、当町は、財政健全化を果たすことが可能となりましたし、森山地区公民館と周辺の公園整備、富津内地区コミュニティセンター、杉沢保育園等の完成と杉沢小・中体育館建設をみることもできましたし、馬場目ネーチャースクール構想のスタートを告げるC&C事業（クリエイティブ・アンド・クリアランス）の導入、更には長寿社会に対応する福祉ゾーンと一体となった野鳥の森再整備「環境と文化のむら」づくりの決定。ふるさと創生事業のスタートをきる「駅前倉庫の取得」等を果たすことができました。

また、町として初めての町民各界各層から成る「行政懇談会」の設置は、その活躍を期待するところであります。また、公共下水道、都市計画道路、戸村堰緑道整備、秋田八郎潟線のトンネル工事への着工、山内バイパスの事業化等も順調に推進することができましたし、農産物の特産化をめざす「トキメキ農園」事業の研究開発もスタートをきりました。更には、消防団の男鹿南秋大会、全県大会での活躍も、うれしいニュースであったと思いますし、秋田追分全国大会、更には、さだまさしショーときやどっこ祭り、各小中学校のスポーツ等の活躍も想い出に残るものであります。

特にまた、二十一世紀にその視点を据えながら、ふるさとの躍進をめざす「五城目町新総合発展計画」「前期五ヶ年実施計画」の策定をみることもできました。これは、何よりも喜びとするところであり、二十一世紀にはばたく五城目町

の建設をめざし、その総力を傾注して参りたいと存じます。

こうして諸事業を推進して参ることができましたのも、議会の皆様をはじめ、町民各位のご指導、ご理解、ご尽力の賜物であり、心からあつくお礼を申し上げます。

迎えました平成五年は、いよいよふるさと創生事業への着工、環境と文化のむらづくり、杉の里モデル基地構想の一環であります五城目城への取付道路をはじめ、諸継続事業の一層の推進、各地の魅力づくりや生活環境整備、産業振興と中小商業活性化事業や大型店対策等、町民福祉の更なる向上と充実をめざし、町新総合発展計画の下に全力を傾けて参りたいと存じますし、町民の皆様は親しまれる役場の庁風づくりや、おもいやりの町政の推進をはかって参りたいと存じます。

町民の皆様はあたたかいご指導とご協力を心からお願ひ申し上げますと共に、皆様の更なるご隆昌を心から祈念申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。

新春を迎えて

五城目町議会議長

佐藤 成孝



平成五年の輝かしい新春を迎えるにあたり、希望と決意をこめて町議会を代表して、町民の皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年は、われわれ議員の改選の年で、永年議員として活躍された方々が辞退した関係もあって、新しく、しかも若い議員五人も当選されるなど時代の流れを感じました。

これは町民の皆様が信頼する議員の負託に対する表れだと思っております。

今年は、二十一世紀を目指したそれぞれの事業計画を一つ一つ確実に実施しながら、新たな時代への魅力ある住みよい町づくりのスタートの年であるものと感じられます。

昨年の新総合発展基本構想においても、新たな動きに的確に対応し、来るべき二十一世紀における望ましい五城目町を創造するための指針として、先人達が育んだ秀れた文化や経済基盤を礎に、二十一世紀における望ましい町づくりのために、潤いと活力に満ちたフレッシュタウンの創造を基本理念に、新総合発展計画を策定したものと思うわけであります。

その施策の柱として、①特性を生かした快適な環境づくり、②調和のとれた活力のある産業構造の確立、③健康で明るい福祉の町づくり、④進取性、創造性に富んだ人づくり、⑤開かれた町政とゆとりある財政運営をめざす、この五本柱、更には、過疎地域活性化計画に基づきながら、官民一体となって、ふるさと創生に向かって努力して参りたいと決意も新たにしているところであります。今年はいよいよこれらの事業を具体化して行かなければならない重要な年であると思われまます。

本町は、歴史の町、職人の町にふさわしい事業が待たれるところであり、住民サービスの拠点はもちろんのこと、高齢化社会の到来に対する適切な対応、農工商一体の秩序ある発展、豊かな人間性と魅力ある住みよい町づくりに向かって、議会としても力いっぱい頑張っていく決意ですので、町民の皆様の力強いご支援を心からお願い申し上げます。

最後に町民の皆様にとって、今年も素晴らしい年でありまますよう心からお祈り申し上げ、益々のご健勝とご多幸を祈念して新年のご挨拶といたします。

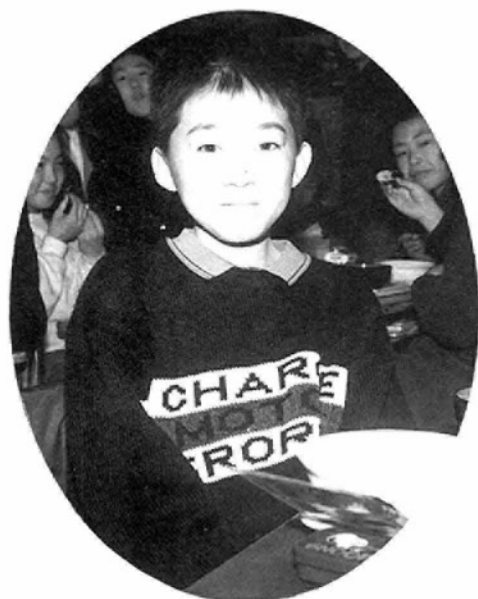
医者への道

児玉隆哉

(五城目小六年)

多くの将来の夢は医者です。そして、その中でも一番なりたいたいの「外科医」です。なぜ医者になりたいかという、ぼくは、ぜんそくという病気に悩まされているのが、それをなおすために、小児ぜんそくサマーキャンプにいったことです。発作がおきて苦しんでいるとき、発作をおさえてくれたのが医者の人たちだったのです。ぼくは、医者という職業のすばらしさを知りました。かぜをひいても、ほねをおってもなおしてくれる医者。ぼくはなおしてもらおう

から、なおすほうになりたいと思いました。だからぼくは医者になりたいと思います。医者になったら、友達や身内の人などの病気などをなおしてあげたり、あの小児ぜんそくサマーキャンプに出席している子供たちをなおしてあげたいと思います。ぼくは医者になるために、今から医者のテレビやマンガなどを見て勉強しているけど、本当になれるかな。



獣医の仕事と私

菅原 美賀子

(五城目小六年)

「獣医」という仕事を初めて知ったのは、ずいぶん前のことです。はつきりしませんが、大きくなったら、獣医になりたいと心に強く思い続けていました。なぜ、この仕事にあこがれたのかと言うとそれには、二つの理由があります。その一つは、動物が好きだということ。私は、小さな頃から今まで、近所の犬や猫と友達のように遊んできました。言葉は分かりませんが、何となく私と動物の心と心が通じているみたいで、動物たちと一緒にいると楽しいからです。もう一つは、今まで多くの捨て犬を見ました。その犬は、

足をけがして、毛が血でまみれていました。その犬は、歩くのも痛そうでかわいそうでした。しかし、誰もその犬のことを気にとめようとはしてくれませんでした。「犬だって一生懸命に生きようとしている」と、そう思ったとき、私は獣医になろうと思ったのです。将来、動物のけがや病気を治してあげたい。小さいかもしれないけど、どれも大切な生命なのだと思います。もしも、この私の夢がかなったなら、これをきっかけに、もっと動物たちと仲良くなれたらいい。これが私の夢の一つです。



六重の塔を夢みて

石井敏幸

(馬場目小六年)

多くの将来の夢は父の跡をついで大工になることです。そして、六重の塔を、五城目町に建てることです。父は今、家を建てています。いつも朝早く仕事に出ていて、夜の七時ころまで働いています。夏は暑く、冬は寒くて大変だろうと思います。今、父からたくさんのこと

強はなまけるな」と言われます。だから、家では毎日自由勉強を中心がなっています。「いつか、五城目町にいくんでも多くの建物を建て、そして、ぼくの仕事の集大成である「六重の塔」を造り、それを見上げる。その時、ぼくの心にはたくさんのお話を覚えてくれた、父のことが心をよぎるでしょう。小高い丘に立ち、五城目町内を風に吹かれながら見渡す自分の姿を、今、ぼくは夢に描いています。

大工になるといってもいろいろなお仕事があるそうです。だからいつも家に帰ると「勉



二十年後の 高齢化社会にむけて

齊藤 千春

(馬場小六年)



私は、将来の夢には、「どんな仕事につきたいか」ということのほかに、「どんな人になりたいか」というのも含めれると思います。

私は、前に高齢化社会についてのテレビを見たことがあります。それまでは、単純に世界で飢えに苦しむ人や、難民を助けないなどと考えていました。ところが、実際足元を見てみると、かわいそうな暮らしをしている老人が、日本にはたくさんいるのです。

このことがきっかけで、私は少しでもそんな老人を救ってあげたいと思うようになりました。

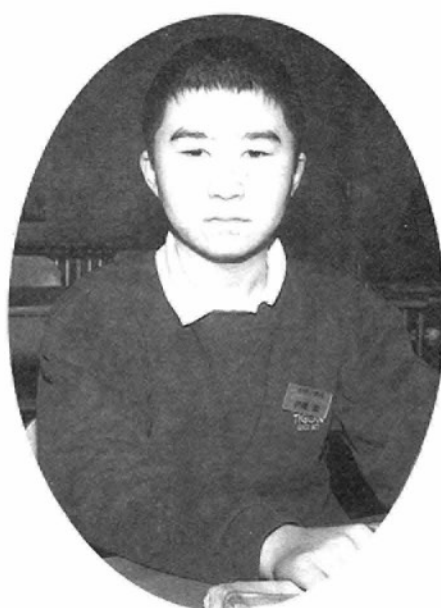
たのです。また、今、自己中心主義が進行しているこの日本で、人に対する思いやりが困難になっていますが、このままでは人間関係が希薄になり、冷たい世の中になってしまいます。だから、私は、思いやりや心の持ち続け、五城目町の老人介護や福祉の仕事に貢献したいと思うのです。

二十年後、秋田県は全国二位の高齢化社会になるそうです。お年寄りが住みよいと思える五城目町をつくること、それが私の夢です。

未来に役立つ ロボットを

伊藤 徹

(杉沢小六年)



ぼくの夢は、みんなに役立つロボットを造ることです。もしもそれが実現したら、未来の生活はずっと楽になると思います。

たとえば、社会で勉強したように、自動車やパソコンが、たくさん造れるようになり、いまよりずっと安く買えるようになることでしょう。

でも、ぼくが造りたいロボットはもっといろいろなことができるものです。

飛行機や新幹線、スペースシャトルなどが造れるとしたらどうでしょう。

雲の上から日本や他の国を見たり、宇宙にかなたに行くことができるようになるに

ちがいありません。

それだけではありません。料理をするロボットやそうじをするロボットができれば、お母さんたちはずいぶん楽になると思います。

また交通整理をするロボット、警察みたいに犯人をつかまえるロボット、火事を消すロボットを造ることができれば、事故や事件がへるにちがいありません。

そうすれば、みんなが豊かに暮らせるような国ができていくと思います。

そのためには、ぼくの夢を実現させるようにがんばりたいと思います。

わたしの将来

佐々木 理夏

(杉沢小六年)



私は人に話せるほどしっかりした夢を持っているわけではありませんが、やりたいことやあこがれている職業がいくつかあります。

今、いちばんあこがれている職業は保育さんです。保育さんの仕事は、たくさんのお乳幼児の世話をしたり、一緒に遊んだりして、一日中体を動かします。私たちの小学校のとなりの杉沢保育園の先生たちを見てみると、本当にたいへんな仕事だと思っています。でも、私は小さい子供も体を動かすことも大好きなので、自分にはむいていると思います。

もう一つは、できれば小学校でおぼえた水泳をずっと続けて、将来水泳を人に教える

資格を取り、コーチになれるくらいなあと考えています。

水泳は全身を動かすスポーツで、たいへんだと思うことがありますが、でも私のいちばん好きなスポーツなので、もし職業にすることができればとても幸せなことだと思います。これはまだはつきりと心に決めたわけではありません。まだ夢ですが、夢を実現するために、いままでおそわってきたことを生かし、夢にむかっていかなければなりません。

これから中学、高校ともっとたくさん自分のことを勉強して、私の夢を実現していきたいと思っています。

夢のわたしの夢

実現したい夢

大人になったらきつと

自分の可能性に挑戦

伊藤 智 幸

(富津内小六年)

伊藤 成 美

(富津内小六年)

小 玉 直 輝

(内川小六年)

ぼくは、秋田高校に入り、秋田大学を卒業、先生になるという夢を持っています。生徒と楽しく勉強して、生徒の気持ちのよくわかる、やさしく、たよりのある先生になりたいと思います。なぜこんな夢を持つようになったかというと、先生といろいろな話をしたり、いろいろな話を聞いたりすると、とても楽しいし、体育や学級の行事で、先生と遊ぶとても楽しいからです。

ぼくは、秋田高校に入り、秋田大学を卒業、先生になるという夢を持っています。もし、本当にこの夢がかなったのなら、今まで親にめいわくをかけていたので、親孝行をしたいと思っています。そして、今もっているように、生徒と楽しく勉強したり、遊んだりしたいです。そして、校長先生になって、今の富津内小学校のように、花だんがきれいな、すばらしい学校をつくりたいと思っています。

「おねえちゃん、遊ぼう。」ときどき、近所のかわいい女の子が二人、わたしの家に遊びにきます。わたしは小さな子が、かわいくて大好きです。その二人と遊ぶことで、今からわたしの夢にむかって勉強しているということですから、わたしは、大人になったら、きつと保母さんになるという夢をもっています。

「おねえちゃん、遊ぼう。」うを見ると、大変なことはいっぱいあります。でも、一生けん命クッキーを作るかわいい二人を見て、またいつそ「保母さんになりたい」と思いました。「オルガンをひいているわたし。子どもたちがなかよく歌を歌っている。みんなは、わたしに『先生、先生。』とい

「ぼく、大きくなったら、お父さんの後を継いで大工になるよ。」「そうか。そうか。ぜひ継いでくれ！お父さん、助かるなあ。」保育園の時、ぼくは、父とこんな会話をした。あの時の父の、うれしそうな顔が、今でも、目にうかぶ。「お父さんって、すごいなあ。あんなに大きな家を造って、まほうつかいみたいだ。ぼくもお父さんのような大工になるぞ。」

「ぼく、大きくなったら、お父さんの後を継いで大工になるよ。」自分になんて才能があり、どんな職業がふさわしいのか、小学生のぼくにはまだわからない。だから、いろんな可能性に挑戦し、自分にふさわしいものを自分で見つけていきたいと思う。大工がいやになっただけでないが、今から決めてしまおうと、もう前に進めないうような気がする。大人になるまで、いろいろな夢を持ち、それに向って進んでいきたい。先日、ぼくは無線の資格をとった。両親にすすめられたせいもあったが、ぼくの挑戦第一号である。

中学生になっても、自分の可能性に、どんどん挑戦していきたいと思う。



夢は、笑顔のすてきな

看護婦さん

畑 沢 千 穂

(内川小六年)

野球選手になりたい

佐 藤 慶 彦

(大川小六年)

やさしい保母さんを

めざして

驚 谷 潤 子

(大川小六年)

私の夢は、看護婦さんになることです。白衣を着て、ナースキャップをかぶり、さっそうと病院の中を歩く看護婦さんは、とてもすてきです。「私も、あんなふうに、病院の中をさっそうと歩いてみたいなあ。」

これが、看護婦さんになりたいと思った、私の最初の理由でした。

私は、小さい頃病気で入院しました。心細くて泣きそうになる私に、看護婦さんはやさしく声をかけてくれました。何を話してくれたかは、もう覚えていませんが、あの時の看護婦さんの優しい笑顔だけは、目に焼きついていきます。

看護婦さんの笑顔にはげまされ、安心したように思います。「私は、やっぱり看護婦さんになろう。」その時、そう決心しました。今も、その決心はかわっていません。

看護婦さんは、注射や点滴をしたり、手術に立ちあつたりと技能が伴う職業です。わたしのようには、手先の不器用なものができるのかなという不安があります。

でも、小さいころから持ち続けていた夢です。ぜひ実現させたいと思います。

「笑顔のすてきな看護婦さん」をめざし、これから私なりに努力していきたいと思っています。

ぼくたち大川小学校は人数です。それでも、いろいろなスポーツをこなしてきました。特に男子のやるスポーツは多くて、去年は大変忙しい一年でした。春は野球、夏は水泳、相撲、秋はミニバスケットをやりました。いろいろなスポーツをやってみて、スポーツの楽しさ、厳しさがわかりました。でも、ぼくは、野球が一番好きです。

J A主催の野球教室で、元巨人軍のエース堀内さんから指導を受けました。その時、ぼくは、「君は良いピッチャーになれるぞ。」と言われました。ぼくは、あの日のことを

今も忘れていません。

大川小では、ぼくがピッチャーでした。先生が熱心に教えてくれたこともあって、町の大会では優勝することができました。チームワークの大切さ、そして最後まであきらめないことの大切さを知りました。なんでもチャレンジすること、やればできるんだということが、わかりました。

中学校へ入ったら、迷わず野球部に入りたいと思います。そして、全県大会に出場できるようにがんばりたいと思います。

わたしは、将来保母さんになりたいと思っています。それは、保育園の保母さんのやさしさが強く印象に残っているからです。

保母さんは、わたし達と一緒に楽しく遊んでくれました。また、一緒に歌ったり、おどったりしました。お昼ねの時間には、楽しい紙しばいを読んでくれました。

でも、保母さんの仕事は、楽しいことばかりでなく、なかなかあると思います。なかなかいいことをきかない子供もいるでしょう。泣いたり、けんかをした時には、なだめなければいけません。また、小さい子供にご飯を食べさせることも、とても大変なことだと思います。

わたしは、子供は好きです

が、遊んであげる方は、あまり得意ではありません。だから、性格としては、向かない面もあります。けれども、歌を歌ったり、紙しばいを読んで聞かせてあげることは苦手ではありません。

保母さんになるためには、いろいろな勉強が必要だと思います。わたしは、ピアノを習っているの、いろいろな曲を、じょうずにひけるようになり、保母さんになった時に生かしたいと思っています。また、低学年の小さい子供達と、いろいろ遊べるようにしたいと思っています。

わたしは、将来、子供達とたくさん遊んであげたり、一人ひとりに気をつかってあげられるような、やさしい保母さんになりたいと思っています。



ぼくたちの夢

新春をうたう



〈短歌〉

鳩居道の墨のかおりの香にたちて
ここに書きゆく新年の歌

(館越 斉藤 諒一)

外曾孫娘誕生加わりこの年は
味良き屠蘇で寿ぎ祝う

(川原町 工藤 上山)

亡父の歳亡母の齢より生き延びし
傘寿の姉はなお健やけき

(浅見内 松橋松之助)

小さき手を合わせて拝む幼な子の
素振り愛らし初詣の朝

(仲町 飯塚定四郎)

丹精の梅はころびて松竹を
寄せて小さき初春を慶ぶ

(大川四区 北嶋 榮)

蛇口より湯のほとばしる初詣
日本の平和永久にと祈る

(古川町 佐藤 貞)

雪かづく椿のつばみふくらみて
一輪紅く生き生きと咲く

(上田町 阿部 ミワ)

くさぐさの思い出秘めたる桐簾筒
畳紙とりかえ晴着を収むる

(小池町 渡辺 タカ)

減反は緩和なるらしこの年の
種籾多く採りて春待つ

(帝釈寺 草皆 チエ)

寿ぎを交わす人らと境内の
御燈り灯りし神々めぐる

(新町 山平 富子)

〈俳句〉

初詣土器に汲みしてお神酒

(町村 石井 進)

森山の双肩開く初御空

(上田町 工藤ミネ子)

馬場岳の尾根わたりきし初日かな

(館越 本間 艶子)

蘭玉に古き柱の拭き光り

(新畑町 近江 三保)

書初や硯の海にさす光り

(石崎 加藤 敬子)

息災に孫子十人初明り

(町村 伊藤 芳穂)

初孫のときめきかろき旅かばん

()

安けしや孫子と寝ねて初夢も

()

初鏡いっそ愛づるか泣き黒子

(湯ノ又 松橋テル子)

初の市行き交ふ人の煌煌と

(湯ノ又 沢田石和子)

〈川柳〉

春の毬弾んでわが家三世代

(長町 鍋谷 福枝)

幸せを余白に記す初暦

(田町 藤原 文)

護摩の炎に孫の太鼓の一人前(築地町 八木下みきえ)

子等帰省幸せ初春の膳の福

(館町 本間 静江)

森山へ一番鶏が列をなし

(館越 斉藤 正美)

拘りを捨てて明日へ輪を広げ

(館町 本間 酒好)

古稀も跳び白寿にかける新春の夢(畑町 畑沢久一)

まっさらな画布で今年も初もうで

(東磯ノ目町 菊地一竿)

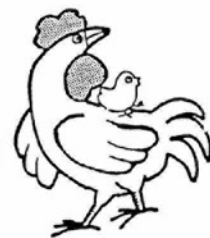
宝船エンヤコラサと引いて新春

(畑町 荒川 紫陽花)

一年の計を夫婦で誓い合う

(東磯ノ目町 今野 一城)

今年が酉年



平成

五年は酉年です。
十二支の動物の中
で、ただ一つの鳥類です。単
に鳥というと、ニワトリ(鶏)
を思い浮かべる人も多いよう
ですが、ニワトリは人間と最
もなじみ深い鳥といえます。
ニワトリといえば卵——日
本人が一年間に食べる卵の数
は、一人当たり三百一十個で
す(世界鶏卵協議会・一九九一
年発表)。これはイスラエルに
次いで、世界第二位です。ニ
ワトリには、随分お世話にな
っているわけですね。

ニワトリのルーツは、イン
ド、スマトラなどのジャング
ルに住むヤケイ(野鶏)を改
良したものとされています。
それが、いまでは世界中のほ
とんどで飼育されています

ニワトリ

が日本の文獻に最初に登場す
るのは『古事記』です。天照
大神が天の岩屋にこもったと

き、その岩屋から出てもらう
ために、常世の長鳴鳥を鳴か
せたことが記されています。
東南アジアには、ニワトリが
太陽を呼び出すいろいろな神
話がありますが、日本もそう
した流れをくんでいるのでし
ょう。

ニワトリには、卵用や肉用、
卵肉兼用、観賞用などの種類
があります。日本の観賞用の
ニワトリの中では、特に長尾
鶏が世界的にも有名です。尾
が十二メートルにもなるもの
もいます。また、鳴き声のよ
い東天紅は、張りのある声で
二十秒近くも鳴き続けるもの
もいます。ほかに、声良鶏
や唐丸など、鳴き声自慢がい
ろいろいます。

人間

と縁の深いニワト
リですが、最近はその姿を見かけることが少
なくなりました。昔は農家の庭
先などで飼われていて、文字
通りの「ニワトリ」でした。
しかし、現在では企業の養鶏
が中心となり、ケージでえさ
や水を与えて飼っていること
が多いので、「ハコトリ」な
どといわれています。

今年が酉年。でも、初日に
向かって時を告げる鳥の声で
目を覚ますというのは、都会
人にとっては無理なようです。

8 業者に除雪作業を委託

また、幅四メートル以下の狭い路地などは、除雪車が入れませんので、町内の皆さんで除排雪を行うようお願いし

名
姓
日
年
月
日

食糸 日糸 品糸 一糸

續 各埠 不山 續 日 車 日

作
者
著
者
著

全町除雪デー

町内則の馬場目川

ふるさと五城目会 32

本年度は積極的な

事業展開を確立

会長 永井 真之助



みなさま、あけましておめでとうございます。
 ふるさと五城目会は、四度目の正月を迎えました。この間、地元の方々、そして会員のご理解とご協力を得まして、その成果も年を重ねることに実って参ります。会員名簿作成による会員間の交流、友人との消息や安否の確認、年一度の九段会館での喜びの集い（総会）、そして既に事業化しつつある、ふるさとの香りいっぱいの朝市パックスの宅急便。本年は積極的な事業展開を確立し、会員間のより親密な交流を礎に情報交換を実現したいと考えています。そして、若年層の方々も進んで参加してもらえる体制づくり、より活性化へと前進して行きたいと思っています。

首都圏で活躍されている五城目町出身者二千名の内、六百名の会員は既に完全に網羅されている現在、活動の根源となる

る本年度の事業計画をご紹介します。

① 会員間相互の交流・趣味を同じくする人達の分科会（民謡愛好会、旅行会、観劇友の会、釣りの会、歩こう会等）

② 春には「お花見」秋には「ダマコ会」等を企画。会員相互の親睦を図る。

③ 地区別の分科会を作る。旧五城目地区大川地区など各地区代表から役員になっていただき、積極的情報交換と提案をしてもらう。

④ ふるさと五城目朝市パックスの会。年四回に分けて五城目の特産品をお届けする（地元、若手経営者群とのタイアップによって実施中）

⑤ 会員の建設関連業界関係者の情報交換会。昨年度第一回を開催。成果を上げ、本年度も上半期に予定。

⑥ 地元五城目町との交流を深める
 ・きやどつこ祭りへの参加、バスツアー実施

・五城目町の物産の拡販に協力（中元、歳暮、展示会等）
 ・地元スポーツ代表の応援（わんぱく相撲、バスケット、交流野球等）
 ・ふるさと墓参協力（帰郷できない人のため、先祖の供養、お墓の清掃を依頼する。お盆時期）

・リターンふるさと実現化を中・長期計画実施に取り組み（ふるさと五城目町へ帰りたい人のための相談）
 ⑦ 姉妹都市・千代田区との交流。正月早々、ダマコ鍋の講習会を実施。その他区および区コミュニティ振興社のイベントに積極的に参加する。

以上の計画実施について、みなさまのご協力を節にお願いますと共に、なんといつてもふるさと出身者の兄弟・姉妹意識でお付き合いできる楽しい会をどこまでも続けて行きたいと思っております。

— 新町出身・五一中・二期卒 —

みなさんの民生児童委員は
この方々です

みなさんの地域の民生委員は次の方々です。福祉に関する悩みごとなどがありましたら、お気軽にご相談ください。担当区域名・委員のお名前が次のとおり。（敬称略）

- | | | |
|------------------------------|---------------------------|------------------------------|
| ◇新里町・広ヶ野
佐々木勢子（広ヶ野） | ◇下高崎・中高崎・上高崎
小玉テツ（下高崎） | ◇高田・千日
小玉星子（高田） |
| ◇希望ヶ丘・上田町
伊藤智子（希望ヶ丘） | ◇久保・館越
一関容子（久保） | ◇北村・高樋
小玉徳太郎（高樋） |
| ◇田町
加藤久子（田町） | ◇岡本
千田源次郎（岡本一區） | ◇湯ノ又一區・二區・小川口
小玉ミネ（湯ノ又二區） |
| ◇今町・御蔵町・小池町・仲町
六角忠志（仲町） | ◇野田
加藤信哉（野田） | ◇湯ノ又三區・四區
沢田石鉄美（湯ノ又四區） |
| ◇川原町・新町・一番町
山平秋明（新町） | ◇浦横町
小玉安長（浦横町） | ◇浅見内一區・二區・三區
工藤秀一（浅見内二區） |
| ◇古川町
近藤春男（古川町） | ◇帝釈寺
石井勇（帝釈寺） | ◇渡辺シゲ（浅見内六區）
黒土 |
| ◇紀久栄町・長町
二方正生子（紀久栄町） | ◇町村・門前
伊藤正蔵（町村） | ◇伊藤久夫（黒土二區）
小倉 |
| ◇新畑町
米田アエ（新畑町） | ◇蓬内台
伊藤東（蓬内台） | ◇大川一區
嶋崎幸喜（大川一區） |
| ◇東磯ノ目町・西磯ノ目町
今野昭一郎（東磯ノ目町） | ◇寺庭
石井テツ（寺庭） | ◇大川二區・下樋口
浅野巳之松（大川二區） |
| ◇矢場崎
鈴木茂子（矢場崎） | ◇中村
佐藤勝次（中村） | ◇大川三區
北島宇一郎（大川一區） |
| ◇築地町・米沢町
荒川要八郎（米沢町） | ◇平ノ下・小野台・水沢
黒沢功（水沢） | ◇大川四區
小熊勇（大川四區） |
| ◇畑町（1）
齊藤庄太郎（畑町） | ◇恋地・坊井地
佐々木義宣（恋地） | ◇西野
千田ミチコ（西野） |
| ◇畑町（2）
畑沢ノブ子（畑町） | ◇杉沢・合地
石川延太郎（杉沢） | ◇谷地中・石崎・曙町
加藤正松（石崎） |
| ◇昭辰町・雀館
藤井誠一（昭辰町） | ◇下山内
小林進（下山内） | |
| ◇中川原・館町・樋口
猿田寿子（中川原） | ◇上山内
大石良雄（上山内） | |
| ◇上樋口・岩城町
猿田利美（上樋口上） | ◇富田
椎名吉五郎（富田） | |
| | ◇八田・台・御蔵下
伊藤正紀（八田） | |
| | ◇脇村・乙市
小玉勝蔵（脇村） | |
| | ◇落合
伊藤武昭（落合） | |

カラーDP 45分仕上

高品質純正 フジカラープリント

パノラマ写真もすぐ出来る

アルプスカメラ

五城目町仲町 ☎52-4246



若さの秘密

わたしの場合

作曲家・指揮者

團 伊玖磨 (上)

僕が、もしも年齢より若く見えるとすれば、ストレスがまるでないからでしょうね。いや、ないように自分を演出しているからかもしれません。せつかくこの世に生まれて、一度は死ぬわけですから、どんなときも、明るい精神で生きていくことが、若さと健康の源だと思っています。そりゃ、年齢とともに、肉体の衰えは感じますよ。

僕は釣りが趣味で、いまでもひまがあると、よく出かけますが、以前は岩場をポンポンと身軽に跳べたのが、少し体が硬くなる……。駅の階段も、少し前は二段ずつ跳び上がったのが、だんだん一歩ずつ、ゆっくり上るようになる……。若いときのあ

の輝かしい肉体は、いったいどこへいつてしまったのだろうと思うときもありますが、それを悔やんでも始まらない。年齢に応じて、ありのままの自分でフル回転していくことが、一番大切なことじゃないかと思っていますね。

中学二年で 作曲を始めた

子どものころ、最初は歴史をやろうと決め、いろいろな本を読んでいた。その中

しかし、父が大いに理解を示してくれて、「平和なときのことを考えろ。いま、だれもやらない音楽をやるといいことだ」と言ってくれましてね。それから半世紀、おおよそながら音楽で、世界と日本を結ぶ仕事をしてきたわけです。いつも心の底にあるのは、同じ時代を生きている人たちに、少しでも美しいもの、楽しいもの、感動できるものをさしあげたい。そして、僕自身も

團 伊玖磨さん略歴

へだん・いくま

大正十三年四月七日、東京都生まれ。六十八歳。作曲家、指揮者。東京音楽学校(現・東京芸術大学)卒。戦後から現在にかけて、日本人に夢を与え続けてきた、日本を代表する作曲家。十代半ばより、故山田耕筰氏などに師事し、二十代で『花の街』、童謡『どうさん』『交響曲第一番』などを発表。作曲は多岐にわたっている。なかでも、昭和二十七年初演のオペラ『夕鶴』は、日本最初の創作歌劇として大成功を収め、第一回山田耕筰作曲賞、毎日音楽賞などを受賞。日本はもとより世界各国で上演され、現在までに公演は六百回を数える。著作活動でもエッセイ『パイプのけむり』で読売文学賞を受賞。テレビの音楽番組の企画・出演など、多忙な毎日。

どんなときも 明るい精神で生きていく

だから、僕はよくよくすることが大嫌いです。嘆いていひまありません。例えば、階段から転げ落ちたとしても、痛いノ、とか、あるいは「もう年だ」なんて思わない。転げ落ちて面白かったと、視点を変えてしまうのです。芝居の音楽を書くときに、階段から落ちるシーンがあれば、さっそくそのとき感じた音が使えるわけですからね(笑い)。

に音楽史もあって、たいへん興味をもった。それが音楽とかわるきつかけでした。日本では、西洋に比べ音楽が生活の中であまり生きていない。そう感じて、それなら僕がそれを作ろうという意識が強くなり、作曲を勉強し始めたのです。中学二年のころでした。やがて第二次大戦になり、「男子が作曲など」と白い目で見られたこともありまし

「三ない主義」が
エネルギーをわかせる

だから、くよくよしたり、嘆いているひまはありません。愚痴をいわない。嘆かない。そして「甘えない」、この「三ない主義」が、僕のエネ



テナント募集 多目的 ホール アーバン・ユ-

[だるま温泉隣り]

●オフィス事務所 ●お稽古ごと ●諸会合等々に最適

お問い合わせは TEL 52-2759 へどうぞ。

五一中生徒4人が入賞

中学生人権作文コンテスト

秋田地方事務局・県人権擁護委員連合会が募集した「中学生人権作文コンテスト」秋田県大会において、五一中三年大石瑠美さんが最優秀賞に輝きました。
また、同校二年石井康平さんが優秀賞を、同じく二年斉藤美保さんと金野理英さんが奨励賞を受賞しました。

「尊敬といったわりを」

大石 瑠美

今、生きがいを見つけ健康に、楽しく生活できるお年寄りには少なくなっています。

心の支えになっているはずの家族に邪魔者にされ、無理やり施設に入れられたり、また家族と一緒に暮らしについて

も心の交流がほとんどない人がいるということをよく耳にします。これは、とても悲しいことだと思います。

私たちが住んでいる土地も町の歴史も、みんな今のお年寄りたちが若いころから築いてきたものです。考えてみる

までもなく私たちは、お年寄りが築き上げてきたものにお世話になっているのです。そんなお年寄りが軽視されている今の世の中は、少しおかしいのではないのでしょうか。私はむしろ尊敬すべきだと思います。

「人も一生、鏡のようにありたいものです。お互いにならばりましょう。」

これは、春の修学旅行で木製の手鏡をおみやげとして届けた後に高堂さんからいただいた手紙の中の言葉です。

高堂さんとは、小学校四年生のときに知り合い、六年たつた今でもお付き合いをしています。高堂さんは今、八十六歳になるおばあさんですが、昔は先生をなさっていたそうです。

私たちの出合いは「お年寄りに年賀状を送る」という小学校の行事がきっかけでした。お年寄りの中には、寝たきりの人も多いのでお返事をいただけるとは思ってもいませんでしたので、届いたときにはうれしさと驚きで一杯でした。初めにいただいたお返事にはお正月をどのように過ごしているかを細かくわかりやすく書いていたのをよく覚えています。

その後、高堂さんは私のために編んだという手袋を手にして、学校に訪ねて来てくださいました。高堂さんは編み物がとても好きなのです。五、六年生のころは、学校まで私の寸法を測りにきて、セーターを編んでくださいました。昨年はマフラーを、今年には手編みのベストをいただきました。

私も高堂さんのお宅に妹と二人で遊びに行ったり、メガネケースやちぎり紙などをプレゼントしたりしました。ときには家でとれた新鮮な旬の野菜を届けたりして、まるで家族のようです。

高堂さんからの手紙やはがきもずいぶんとたまりました。私は手紙の中に「四つ葉のクローバ」を入れて送ったことがあります。その手紙のお返事には、

「私も女学校時代、お友だちと一緒に四つ葉のクローバを探しました。この葉は、幸福のシンボルだといわれていますので、めったに見つからないものでした。あなたからこの珍しい幸福のクローバをいただいたいて、何か幸福が舞い込んでくるような気がします。本当にありがとうございます。大事に大事にとっておきます。」

と書かれていました。草花の手入れをしたり、落ち葉集めをしたりしていることなど日常生活のことから高堂さんが何を、何を考えているかが手に取るように伝わってきます。この瞬間、私はとても幸せな気持ちになります。

高堂さんから、人の生き方の何か大切なことを教えられているような気がするのです。「やさしさ」や「誠意」という言葉だけでは表しきれないすばらしいものです。私は高堂さんだけでなく、私は

きました。

私も高堂さんのお宅に妹と二人で遊びに行ったり、メガネケースやちぎり紙などをプレゼントしたりしました。ときには家でとれた新鮮な旬の野菜を届けたりして、まるで家族のようです。

高堂さんからの手紙やはがきもずいぶんとたまりました。私は手紙の中に「四つ葉のクローバ」を入れて送ったことがあります。その手紙のお返事には、

「私も女学校時代、お友だちと一緒に四つ葉のクローバを探しました。この葉は、幸福のシンボルだといわれていますので、めったに見つからないものでした。あなたからこの珍しい幸福のクローバをいただいたいて、何か幸福が舞い込んでくるような気がします。本当にありがとうございます。大事に大事にとっておきます。」

と書かれていました。草花の手入れをしたり、落ち葉集めをしたりしていることなど日常生活のことから高堂さんが何を、何を考えているかが手に取るように伝わってきます。この瞬間、私はとても幸せな気持ちになります。

高堂さんから、人の生き方の何か大切なことを教えられているような気がするのです。「やさしさ」や「誠意」という言葉だけでは表しきれないすばらしいものです。私は高堂さんだけでなく、私は

高堂さんだけでなく、私は

高堂さんだけでなく、私は

高堂さんだけでなく、私は

高堂さんだけでなく、私は

高堂さんだけでなく、私は

高堂さんだけでなく、私は

祖父や曾祖父にも人生について教えられています。今、私たちが住んでいる家は七十年以上もたっていますが、びくともしません。祖父や曾祖父が山から木を切ってきて、自力で建てたものです。お年寄りは私たちがいたわるといいうよりは心から尊敬する人たちといえるのではないのでしょうか。

確かに身体は若い人のように丈夫ではありません。そういう意味では弱者ですから、

確かに身体は若い人のように丈夫ではありません。そういう意味では弱者ですから、

確かに身体は若い人のように丈夫ではありません。そういう意味では弱者ですから、

確かに身体は若い人のように丈夫ではありません。そういう意味では弱者ですから、

確かに身体は若い人のように丈夫ではありません。そういう意味では弱者ですから、

確かに身体は若い人のように丈夫ではありません。そういう意味では弱者ですから、

確かに身体は若い人のように丈夫ではありません。そういう意味では弱者ですから、

確かに身体は若い人のように丈夫ではありません。そういう意味では弱者ですから、

確かに身体は若い人のように丈夫ではありません。そういう意味では弱者ですから、

確かに身体は若い人のように丈夫ではありません。そういう意味では弱者ですから、

確かに身体は若い人のように丈夫ではありません。そういう意味では弱者ですから、

町長の主な予定（一月）

- ・1月1日/長寿祝（大川三区・小鮎トミエ様）
- ・1月4日/仕事始め式（役場）
- ・1月5日/消防出初め式・観閲式（消防署前）/同式典（広域体育館）
- ・1月7日/子どもの雪まつり打ち合わせ会（役場）/大川地区分民館子どもふれあい広場大川改善センター）
- ・1月8日/庁議（役場）/水田農業確立対策推進協議会（役場）
- ・1月14日/行政懇談会（役場）
- ・1月15日/第37回全県青年問題研究集会（町民センター）
- ・1月17日/新春大川地区講演会・懇談会（大川改善センター）
- ・1月19日/町功労者・宮田盛之助様誕生祝（紀久栄町）
- ・1月21日/町功労者・故長谷川専治様一周忌（仲町）
- ・1月22日/庁議（役場）
- ・1月25日/町功労者・石井俊一様誕生祝（御蔵下）/町功労者・阿部千々様誕生祝（今町）
- ・1月27日/杉沢保育園竣工式（杉沢小・中学校）/杉沢小・中学校校舎・体育館竣工式並びに祝賀会（杉沢小・中学校）
- ・1月28日/長寿祝（中村・小玉モヨ様）
- ・1月29日/部課長会議（役場）/町功労者・長谷川定作様誕生祝（仲町）
- ・1月31日/第24回五城目町PTA研究集会（町民センター）

パートさん募集中!!

- 鍋物各種 ●ピザ各種
 - 特製ラーメン(みそ・塩・しょうゆ)
 - 日替ランチ(コーヒー付)等
- 《お気軽にご用命ください》

COFFEE & PUB まろん

五城目町古川町 ☎ 52-2334



秋田市山王五丁目7-22
バイオニアエンジニアリングビル1F

☎ 65-1656

<委細面談>

馬場目川河川敷花だんなど

14の花だんが入賞

全県花だんコンクール

平成四年度全県花だんコンクールにおいて、馬場目川河川敷花だんなど本町の十三の花だんが入賞しました。特に、馬場目川河川敷花だんは特別優秀賞（県知事賞）を、黒土老人クラブでは同じく秋田魁新報社賞を受賞するなど、すばらしい成績を収めました。また、全国花いっぱいコンクールにおいても、職場・地域の部で毎日新聞社賞を受賞しました。成績は次のとおりです。



受賞を喜ぶみなさん

- ・小学校の部
 - ・優良賞 富津内小学校
 - ・努力賞 馬場目小学校
- ・大川小学校
- ・道路花だんの部
 - ・特別優秀賞（県知事賞） 馬場目川河川敷花だん
 - ・優良賞 広ヶ野老人クラブ
 - ・町内会・自治会の部
 - ・特別優秀賞（秋田魁新報社賞） 黒土老人クラブ
- ・各種団体の部
 - ・優秀賞 湯ノ又いろいろ会
 - ・優良賞 富田老人クラブ 千寿会・浅見内老人クラブ 親睦会・湯ノ又第二老人クラブ
 - ・努力賞 湯ノ又第一老人クラブ
 - ・谷地中老人クラブ
- ・職場の部
 - ・努力賞 五城目幼稚園
 - ・子供会の部
 - ・努力賞 富田子供育成会
- ・全国花いっぱいコンクール
 - ・全国入賞
 - ・職場・地域の部 毎日新聞社賞 馬場目川河川敷花だん
 - ・地区入賞
 - ・最優秀賞 馬場目川河川敷花だん
 - ・優良賞 黒土老人クラブ

半田君（大川小）の作品が一位に

県防犯ポスターコンクール

「少年の非行防止と明るい社会の建設」に寄与することを目的に、秋田県防犯協会連合会が行った防犯ポスターコンクールにおいて、大川小学校六年の半田健志君の作品が、第一位になりました。また、同作品は東北防犯ポスターコンクールにも出品され、優良賞を受賞しました。



賞状を手にする半田君

推薦に佐々木敏子さん

県民芸術祭公募文芸



受賞を終え記念撮影（前列左から）千貝さん、佐々木さん、近江さん。（後列左）大石さんと選者の今野さん。円内は、柳原さん。

平成四年度の県民芸術祭公募文芸「あきたの文芸」において、川柳部門で佐々木敏子さん（希望ヶ丘）が推薦に、入選には、大石一粋さん（下山内）、千貝みどりさん（東磯ノ目町）、柳原紅さん（同）が選ばれました。また、俳句部門では、近江安司さん（新畑町）が入選に選ばれました。なお、選考には東磯ノ目町の今野一城さんもあたりました。



半田君の作品

NHK学園全国

短歌大会

ジュニア入選作品

平成四年度NHK学園全国短歌大会ジュニアの部において、大川小学校五年の小熊紗緒梨さんと金沢ノリ子さんの作品が優秀賞に輝きました。全国から寄せられた小学生三、九二七人の中から選ばれたものです。◎つうしんば母にみせるのこわくってねる前に渡しすぐねたふりをする ◎アンテナの工事の父の背をこがす両日かたむくまで見守る 金沢ノリ子

あけまして おめでとう ございます

今年もよろしくお引立の程お願い申し上げます。

田舎ぐらしの
豊かさを
贈ります。

古法醸造味噌・漬物
きりたんぽセット・餅・佃煮
諸越・稲庭うどん
三五八漬物 etc

手づくりの味
自然の味
ふるさとの味

さ か い ち
坂 市

秋田県五城目町字上町142 ☎(0188) 52-2046



故佐藤忠四氏に 勲五等瑞宝章

このほど、浦横町の故佐藤忠四氏（平成二年度町功労者）に、勲五等瑞宝章が授与されました。



賞状を手にする佐藤夫人

佐藤氏は、昭和七年から四十六年までの三十九年間教職に就き、子弟の薫育に挺身されました。この間、内川小学校、五城目小学校の校長として十二年間その職務に精励。内川小学校時代は、町内における学区変更に当り、卓越した指導力と学校経営に努め、小規模校ながら全国学力調査に希望参加し、学校給食への積極的な取り組み、南秋支会の教科研究校としてその力を発揮されました。また、五城目小学校時代は、富津内西小学校と五城目小学校の統合作業をはじめ、焼失した馬川小学校を統合するなど、町教育史に残る大きな事業を成し遂げられました。

河川浄化を訴える

馬場目小学校児童の標語

馬場目川の水质調査など、河川浄化のための活動を積極的に行っている馬場目小学校のみなさんの標語を順次ご紹介します。

この標語は、県内水面漁業協同組合連合会が募集したもので、今後、同連合会が行う自然保護運動の啓発に活用されることになっています。

・川はいつもきれいである
「（こ）みをすてないで」と
2年 越高末季子

- ・ぼくらもできるぞきれいな川に 郷土の誇り馬場目川 4年 金野 寛之
- ・そのゴミがきれいな川を だめにする 5年 宮城 宏樹
- ・川のごれは心のよごれ 川も生きています 5年 小玉 聖
- ・八郎湖救おう守ろう ぼくらの手で 6年 小玉 葵

五城目婦人短歌会 20周年記念歌集を刊行

五城目町婦人短歌会（代表・山平富子さん）では、このほど設立二十周年を記念し歌集を刊行しました。歌集はB五版四十八ページで、会員のみなさんや指導されている先生の作品約三百三十首が収められています。



同短歌会は、昭和四十六年、当時、五城目婦人会々長であった佐藤貞さんの呼びかけで設立され、当時四人であった会員も現在では十一人となり、健詠が続けられています。

森山莊親睦会のみなさん

社協へ膝掛を寄贈



膝掛を手渡す親睦会のみなさん(右)

十二月一日、老人ホーム「森山莊」の親睦会のみなさんが、町社会福祉協議会へ膝掛六枚を寄贈されました。これは、歳末たすけあい運動に役立ててほしいと、親睦会のみなさんが丹精込めてモチーフつなぎで編んだものです。

この膝掛は、さっそく町内の在宅一人暮らし老人の方々に贈られました。



バスターミナル前で行われたキャンペーン

ラジオ100台が寄せられる
カンボジア・ラジオ
支援キャンペーン

十二月十三日、創価学会青年平和会議のみなさんによる「カンボジア・ラジオ支援キャンペーン」が五城目町バスターミナル前などで行われ、約百台のラジオが寄せられました。

このキャンペーンは、同会議がUNTAC（国連カンボジア暫定行政機構）の明石国連事務総長特別代表からの要請を受け実施したもので、これらのラジオはカンボジアに送られ、平和のための広報・教育活動に役立てられることになっています。

あけまして
おめでとうございます

今年もよろしくお願い申し上げます

まごころかよう



五城目信用金庫 本店

☎ 0188-52-2115 (代)



手づくり家具

伊藤忠木工

天然秋田杉を素材に木目、色、風格などすぐれた特徴があり秋田桐を使用し、お客様のご要望に応じてお作り致します。（家紋入れ可能）



ス
タ
ン
ド
タ
ン
ド
桐
家
具
秋
田
杉
櫥

秋田県南秋田郡五城目町高崎田中219
TEL 0188-52-3708

地域文化の創造と振興を

— 男鹿・南秋芸術文化振興大会 —



町民センターで開かれた振興大会

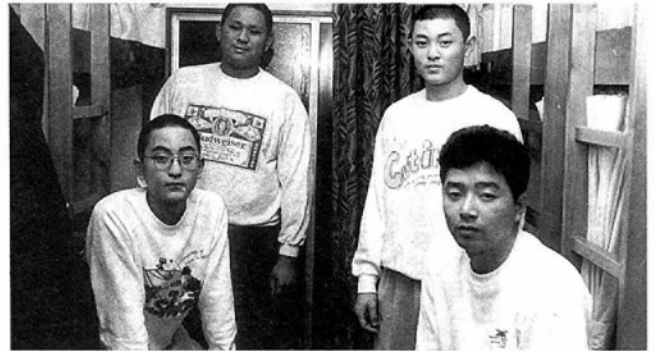
「地域に根ざした芸術文化活動の高揚をめざして」をテーマに、第六回男鹿南秋芸術文化振興大会が、十二月八日、町民センターを会場に開催されました。

大会には、男鹿南秋の各市町村から約百五十人が参加。大友康二氏の講演「幸せの条件」を聴いた後、各部門に分かれての分科会が行われ、みなさんは、日頃の活動において抱えている問題などを活発に話し合っていました。

また、芸能発表や懇親会も行われ、交流を深めていました。

いっしょに勉強や遊びを

— 杉沢小・中寄宿舎入学式 —



共同生活をする菅原先生（右）と生徒たち

十二月一日、杉沢小・中学校の冬季寄宿舎入学式が行われました。

この冬、寄宿舎に入るのは、三年生の金沢吉起さんと金沢聡さん、二年生の金沢成泰さんの三人。生活の指導などをする舎監は菅原寿彦先生です。

入学式には、三人の生徒とお母さん、教諭や町教育委員会職員ら十四人が出席。小中学校長らが「勉強はもちろん、遊びも頑張ってください」と激励していました。

三人の寄宿舎生活は、三月の春休み前まで続きます。

みんな仲良くな。

エリックさんと楽しいもちつき

— 五城目保育園 —



エリックさんといっしょにもちをつく園児たち

十二月九日、五城目保育園では、英語指導助手のエリックさんを招いてもちつき会が行われました。

園児たちは、元気に歌をうたった後、エリックさんと一緒にもちつきを行いました。「ヨイショ・ヨイショ」のかけ声に合わせて、重いきねを元気につばいに打ち降ろしていました。

つくたてのモチは、きな粉もちやごまもちにされ、園児たちは口いっぱい頬ばりながら、おいしそうに食べていました。

また、エリックさんに、「アメリカにも、もちつきがありますか」などと質問する場面も見られました。

わが家の食生活は大丈夫？

— コレステロール講演会 —



役場正庁で行われたコレステロール講演会

第二回コレステロール講演会が、十二月九日、役場正庁において行われました。

今回の講演会には、約四十人の女性が出席。食生活を中心とした、湖東総合病院・斎藤アツ子栄養技師長の講演に、メモをとるなど熱心に耳を傾けていました。

参加者には、「食品に含まれる総コレステロールの量」や「食事療法」など詳細に記載された資料が渡され、みなさんは聴講の後、メモや資料を見ながら、食事について活発に講師に質問していました。

謹賀新年

御年始、御贈答には

清酒

五城目城

を御利用下さい。

タカツ

酒専門店

五城目町中央通り 電話 52-2262
フリーダイヤル 0120(15)2262

謹賀新年

今年もよろしくご愛顧、お引立を賜りますようお願い申し上げます。

初売 1月1日～3日まで
ダブルサービスがあります。

五城目 中央薬局

下町朝市通り ☎ 52-3217

子どものふれあい広場開催

大川地区公民館

大川地区公民館では、冬休み期間中を利用して心豊かで健康な体を育もうと、子どもふれあい広場を開催します。

地域住民の交流と健康増進を図ることを目的に、馬場目地区公民館と婦人学級共催によるふれあい健康講座が開かれます。

- ▽場所 リバーサイド磯ノ目
- ▽内容 子供・メモスタンド他
- ▽主催 工房きくち
- ▽後援 五城目町物産協会
- ▽費用 1,000円(材料等)
- ▽募集人員 先着20組
- ▽申し込み・問い合わせ先 リバーサイド磯ノ目

52-2828

幼稚園児を募集

受付は1月20日～30日

五城目幼稚園では、平成五年度の園児を募集します。

応募資格

- ・平成6年4月に小学校に入
- 学する方(昭和62年4月2
- 日～63年4月1日生まれ)
- ・五城目町在住の方

▽願書受付 1月20日～30日

親子木工教室

参加者募集

▽期日 1月15日(祝)

▽時間 10時～正午

▽願書交付・提出および問い合わせ先 五城目幼稚園、町教育委員会

全県青年問題研究集会

1月15日～17日開催

青年たちが、自らの活動や課題などを話し合う、第三十七回秋田県青年問題研究集会(きやどっこ青研)が、1月15日から17日までの三日間の日程で、町民センターを主催に開催されます。

集会では、記念講演や基調報告のほか、文化活動や青年会組織活動、平和や環境問題などについて話し合う分科会も行われます。

全県青少年サークル活動研究協議会開催

▽日時 1月20日(水)10時10分～15時10分

▽場所 県生涯学習センター

▽参加対象 学校教育・社会教育関係者、PTA関係者、ボランティア等

内容

- ・サークル活動体験発表
- ・シンポジウム「学校週5日制に対応した子どもたちの地域活動の在り方」
- ・サークル活動リーダー交流の集い

2等陸・海・空士自衛官を募集

自衛官の四次募集を行って

います。

▽募集階級 2等陸・海・空士

▽募集期間 1月1日～3月31日まで

▽問い合わせ先 自衛隊秋田募集案内所

64-4929

町長選挙立候補予定者

1月19日 説明会を開催

平成五年二月二十四日をもって任期満了となる五城目町長選挙について、次のように立候補予定者説明会が開かれますので、本人または代理人が出席するようにしてください。

【選挙の日程】

▽投票日

2月14日(日)

▽選挙告示日

2月9日(火)

▽立候補届出

2月9日(告示日)の午前

8時30分～午後5時

▽選挙運動期間

立候補の届出が済んだときから投票日の前日まで

【不在者投票について】

▽期日 告示の日から投票日の前日まで

▽時間 午前8時30分～午後5時まで

▽場所 町選挙管理委員会室(役場3階)

※町外における不在者投票用紙等の請求については、二月一日から受け付けます。

屋内温水プールのご利用について

◎1月10日 午前中は

バジテストのため一般の方は利用できません。

午後からは普通どおり利用できます。

◎改修工事のため

1月18日～4月中旬まで休館となります。

ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。



テレホン広報

652-4141

活力に満ちた町政を目ざして

今回の「まちからこんにちは」は、町長公室からのお話をお送りします。

	月	火	水	木	金	土	日
1/4～10	家庭での交通安全対策						
11～27	まちからこんにちは						
18～24	夫のためのマタニティ情報						

テレホン広報
ごじょうめ
のご案内

遺跡をたずねて

<13>

五城目の城跡 その1

砂沢城跡

五城目の上町通りから北にまっすぐの所に見える前平山、そこに砂沢城跡があります。現在、森林資料館「五城目城」が建っている場所が本丸跡になっています。

五城目城は、安東氏の内紛によって減んだ山内城・馬場目城・浦城の後の天正十五年（一五八七）頃に、藤原（五十目）内記秀盛が、新しく五城目の支配者になった時に築造された居館です。北は兎品



沢に向って急斜面になっており、南は五城目町・湖東部をながめることができます。

五城目の上町、下町が城跡にまっすぐに向っていることからみても、城下は五十目であったことがわかり、城下町として町割がなされていて、町名も、御蔵町・米沢町・今町などとなっているのは、町として機能していたなごりです。

居館が築かれてから「市」

と「座」が設けられ、五城目の集落が発達していききました。

「市」は、室町時代中期以降、農民が生産物を売り、現金化する場として各地に開かれるようになり、天正十六年に、馬場目町村から城下町・五城目に市が移ったといわれています。市は城下の政治経済の発展には欠かすことはできなく、そのためにも領主は市の保護と統制に心をくばりました。市には座で作られた品物や、農産物、湯からとれた魚などが売られ、五十目はさぞ、今とかわらないほど、にぎやかであったことでしょう。

「座」は特に政治的要因が強く、市以上に領主との関係が深く、民衆の経済・生活・産業の要求に基づいた役割を担っていました。

天正十五年八月十五日、砂沢城のすぐ西に、美濃国丹羽郡大山下瀬戸（現在の岐阜県から五戸の陶工が移り、瀬戸座をひらいており、東北の美濃系の窯としては最古のものといえます）。

その他にも、金屋座・鍛冶座・線香座などがあり、座は商品の専売権・免税権などの特権をもつなど、領下の産業経済を支配するほどの力がありました。が、領主が没落すると解体するという運命も併せ持っていました。

（所在地）五城目町兎品沢六十二（二）

「今回は五城目町の遺跡紹介」

善意の寄付者

（敬称略）

12月1日 東磯ノ目町

5万円 渡部良子（亡夫信三様の香典返しとして）

12月21日

3万円 東磯ノ目町柳原清一（亡父松太郎様の香典返しとして）



森山 莊に 寄せられた善意（敬称略）

12月10日

りんご 35 K かぶ 110 K 久保 一関喜正

12月16日

マイルドセブン 75個 日本たばこ産業（株）盛岡支店

12月17日

菓子 100袋 米沢町 長谷川倉太郎



善意

お宅の電気設備は 大丈夫ですか

正月二日は「事はじめの日」。家庭では新年初の掃除「掃き初め」をして、初湯をたてて入浴し、吉を念じて夜は「初夢」をまどろみます。昔から元旦には「うき」を持つのは福を掃き出すといって嫌いますが、二日からは掃除もおおっぴら元旦を「静」とするならこの日からは「動」というわけです。

ところで財団法人東北電気保安協会は、ご家庭や商店などの皆様を訪問し電気設備について、東北電力から委託を受け、無料で安全調査を行い、その結果を皆様にお知らせしております。当協会の調査職員がお宅へ伺ったときや再訪問のお知らせをしましたときはどうか協力下さい。今年もどうぞよろしくお願ひします。

（財）東北電気保安協会

訂正とおわび

12月14日、浦横町の故佐藤忠四様の蔵書（文学全集など）865冊を、夫人の榮子様から、中央公民館へご寄贈いただきました。

広報ごじようめ、平成4年12月15日号のゴミ収集日程表で、12月とありましたのは、1月の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

町税のおしらせ

1月中旬に町民税第4期の督促状が発送されます。納め忘れていませんか。もう一度お確かめください。

少年の日標語

きょうのこと みんなで話す 明るい家庭

最新システムグローワークス様
洗車会員募集
愛車はいつも綺麗がいい！
・ワックス掛の他、当店では車内清掃も行っています
温水使用で真冬でもOK
きれいな好きの面笑くさがり屋さん
集まって下さい。
湖東商事 有限会社
五城目町大川国道7号線添い
☎75-3550・4317

あけましておめでとう
ございます
今年もよろしくお引立くださいますようお願い申し上げます
お菓子のしばた
五城目町古川町 ☎52-3238

カラープリント 30分 仕上げ
イトウカメラ
伊藤写真館
新畑町（ガーデン松竹向い） ☎52-3667



キジバト

(ハト目・ハト科)
体長 35 cm

背中に赤褐色と黒のうろこ模様があり、首に青と白の小さなしま模様がある、キジバト。「デッポポ」と鳴きます。
草地や農耕地などの地上を歩きながら、草や木の実を食べます。繁殖期にはつがいでも生活し、翼を水平に保ち、尾も開いて滑空するディスプレイ飛行をよく行います。木の枝の上に枯れ枝を積み重ねて浅い皿形の巣をつくりまわす。

おたんじょう
おめでとうございます

(敬称略)



伊 藤 幸 村 ちゃん
4年11月4日生

「おかあさんの一言」
顔はお父さんに似ても
背は高くなってるね!

おめでとう 申し上げます

(敬称略)

嶋崎 三郎	80歳	11月18日
猿田 セイ	59歳	11月19日
伊藤 ミチ	90歳	11月24日



町の人口と世帯

平成4年 12月1日現在

人口	14,245 人	(-11)
(男)	6,757 人	(-2)
(女)	7,488 人	(-9)
世帯	3,967 世帯	(-1)

※ () 内は前月との比較

伊藤 幸村	長男	11月4日
巧・操	東磯ノ目町	
門間 大樹	二男	11月4日
寿・玲子	畑町	
斉藤 和哉	長男	11月4日
正和・美保子	館越	
佐藤 健大	長男	11月23日
節男・真由美	下高崎	

- 1・元旦
- 4・官庁仕事始め
- 5・五城目町消防出初式
【観閲式】消防署前路上 9時
- ※全消防職員・団員が町長の観閲を受けた後、式典会場の広域体育館まで行進します。
- 【式典】広域体育館第二体育室10時
- ※表彰状授与ならびに感謝状贈呈などを行います。
- 5・31・役場庁舎ギャラリー「旭台会書道展」※条幅・半紙など
- 6・8・平成5年度五城目、内川、大川保育園入園申請受付(役場1階町民談話室9時～15時)※都合の悪い方は1月11日から18日までに役場住民課へ
- 13・母子手帳交付と妊婦相談
- 12・1歳6カ月児健康診査(役場保健室・受付時間12時45分～13時15分)※対象は3年5・6月生まれの方。
- 20・30・五城目幼稚園入園願書受付※対象は昭和62年4月2日～63年4月1日生まれの方。
- 14・(役場保健室10時～15時)学校給食調理員研修会(町民センター9時30分～)
- 15・成人の日
- 16・馬場目地区公民館健康広場(ふれあいセンター13時～)
- 17・書道通信講座新春書き初め会(体育館予備室13時～)
- 18・新春大川地区講演会、懇談会(環境改善センター13時30分～)
- 19・幼稚園および小・中学校第3学期始業式
- 19・乳児健康診査(役場保健室・受付時間13時～13時30分)※対象は4年3月と9月生まれの方。